

平成 30 年北海道胆振東部地震 二階幹事長 調査報告

概要

平成30年9月16日、二階俊博幹事長を団長とする自民党調査団は、北海道勇払郡厚真町（町役場、富里浄水場、土砂災害現場）、札幌市清田区（液状化現場）、東区（道路陥没現場）、北海道庁対策本部を相次いで訪問し、被害・復興状況について高橋はるみ北海道知事、宮坂尚市朗厚真町長などからヒアリングを行うとともに、北海道商工会議所連合会、北海道観光振興機構、北海道農業団体、北海道林業・木材産業関連団体などから、緊急要望を受けた。

調査団

【党本部】	【道 連】	【現地対応】
二階 俊博 本部長／幹事長	吉川 貴盛 道連会長（本部役員兼）	（厚真町）堀井 学 衆議院議員
林 幹雄 副本部長／幹事長代理	長谷川 岳 会長代行	（厚真町）神戸 典臣 常任顧問／道議
金田 勝年 副本部長／幹事長代理	伊東 良孝 衆議院議員	（清田区）高木 宏壽 前衆議院議員
今村 雅弘 事務局長／災害対策特別委員長	武部 新 副会長	（清田区）岩本 剛人 副会長／道議
佐藤 信秋 事務局長代理／災害対策特別委員長	清水 誠一 元衆議院議員	（東 区）大崎 誠子 女性局長／道議
吉川 貴盛 事務局次長／国土強靱化推進本部長代理	小畑 保則 幹事長／道議	
	中司 哲雄 政調会長／道議	

①北海道高橋知事、厚真町宮坂町長より現況説明



厚真町での救出救助体制

- 消防 約 300 名
- 警察 約 400 名
- 自衛隊 約 1900 名

②厚真町富里浄水場



・事業費 65 億円で今年 8 月に稼働したばかり。北側斜面が崩壊し土砂が直撃。

③厚真町吉野地区 土砂災害現場



- ・厚真町での死者は36名。全壊44戸、半壊32戸、一部損壊30戸。(9/15現在)
- ・厚真町は北海道有数の米どころ。

④札幌市清田区里塚地区 液状化現場



- ・今後の降雨によって更なる沈下も予想され、当面の生活支援が必要。
- ・13日に地元説明会(第1回)を開催

⑤札幌市東区 道路陥没現場



- ・被災延長4.3Km 深さ1.5m程度の大規模な陥没が多数発生
- ・17日にも仮復旧の見込み

⑥北海道庁より被害・復興状況説明（要望内容は別紙）



二階幹事長ぶら下がり@道庁

Q) 視察のあと、要望も受けた。党としてどう対処するか。

A) 厚真町、清田区、東区の被災現場を回り、高橋知事や秋元市長から、また、さらに多くの各種の団体の方々から切実な要望を頂戴した。甚大な被害であり、心からお見舞いを申し上げますと同時に、我々もみんな、災害の経験はみんなが持っているから、自民党はこの皆さまのご要望に添って、できるだけ多くのことをしかも速やかに対応出来るように、明日、東京に帰ってからすべての関係者を招集して対応したいと思う。なお、18日の16時に自民党で対策本部を開いて対応を協議し、皆さんにできるだけ早く答えができるようにしたいと思っている。

Q) 観光分野での懸念についての要望があったが。

A) 観光に対しての要望はもっともなことだが、これはただちにどう対応出来るかと言えるものではありませんが、私としてはこの地域のせっかく盛り上がりかかっているこの観光の芽を摘むようなことがあってはならないということで、全力を挙げて災害対策の中で、観光の面での対応を図り、高橋知事や秋元市長とよくご相談の上、自民党はこんなに早く対応をやってましたかってみんなに言われるくらいのことを、意気込みでやらせてもらいたいと思う。

Q) 知事から「ふっこう割」の提案があったが。検討は。

A) それは東京に帰ってすぐに対応します。

Q) 北海道での地震や災害が相次いでいる。補正予算については。

A) いまですね、補正は諸々の要件が必要だから、いまここで補正がどうだっていうことを速やかに答えることがいいのかどうかだが、補正の必要を十分念頭に入れて対応する。あとは皆さんがそれを咀嚼してお書きいただくのは結構です。

Q) 現場を見た感想を。

A) 一口に言えば聞きしに勝る状況であって、我々はこの災害復旧に速やかに全力を投球して、自民党だからこうやれたと言われるくらいの意気込みを持って対応したいと思う。

報道ぶり

自民 二階幹事長 地震被災地を視察「補正予算案の編成必要」

9月16日 19時20分NHK

北海道で震度7の揺れを観測した地震を受けて、自民党の二階幹事長は、被災地を視察し、復旧・復興や防災対策強化のため、今年度の補正予算案の編成が必要だという認識を示しました。二階幹事長は16日、北海道を訪れ、大規模な土砂崩れが起きた厚真町や、液状化で被害が出た札幌市の現場を視察し、高橋知事や秋元市長らと意見を交わしました。このあと、二階氏は記者団に対し「今回の災害で、地域の観光の芽を摘むようなことはあってはならない。知事らの要望に沿って、全力を挙げて対応したい」と述べ、観光客誘致などを支援していく考えを示しました。そのうえで、二階氏は「十分、補正予算の必要性を念頭に置いて対応する」と述べ、相次ぐ災害からの復旧・復興や防災対策の強化のため、今年度の補正予算案の編成が必要だという認識を示しました。

18日に復興メッセージ発表へ

9月16日 19時08分NHK

高橋知事は、被災地の視察のため北海道を訪れた自民党の二階幹事長と会談し、風評被害による観光客減少を防ぐため、復興をアピールし観光旅行を促すメッセージを18日に発表する考えを示しました。高橋知事は16日、被災地の視察のため北海道を訪れた自民党の二階幹事長と道庁で会談しました。この中で高橋知事は、「観光立国である日本に貢献している北海道の観光客が減少している。この状況を跳ね返していきたい」と述べ、地震のあと、道内の宿泊予約のキャンセルがのべ94万人分に上り、観光業全体で推計292億円の影響が出ていると説明しました。その上で高橋知事は、風評被害による観光客の減少を防ぐため、国内外に向けて北海道の復興をアピールし観光旅行を促すメッセージを、18日に発表する考えを示しました。このあと二階幹事長は記者団に対し、「北海道がせっかく盛り上がりかかっているこの観光の芽を摘むようなことがあってはならない。全力をあげて災害対策の中で観光の面の対応を図り早く対応してくれたと言われるようなことをやりたい」と述べました。